

プロセラ インプラント ブリッジ Procera® Implant Bridge

①【プロセラ インプラント ブリッジとは?】

- インプラントやアバットメントに直接スクリューで固定されるCAD/CAMで製作されたブリッジのフレーム。
 - フレームの材質はチタン製とジルコニア製より選択できます。
 - インプラントと直接スクリュー固定されるフレーム(インプラントレベル)はチタン製とジルコニア製より選択できますが、アバットメントと固定されるフレーム(アバットメントレベル)はチタン製のみとなります。
 - 14歯まで製作可能(製作許容範囲である場合)
- ※ジルコニア製は2ポンティック&1カンチレバーまで対応。
 ※インプラント システムはNobel BiocareのBranemark®とNobelReplace™に対応。
 ※上記アバットメントはNobel Biocareのマルチユニット アバットメントのみに対応。



プロセラ Forteスキャナー(CAD)



プロセラ幕張プラント(CAM)

②【修復方法の各種参考例】

◆ジルコニア製

《ポーセレンを直接築盛》

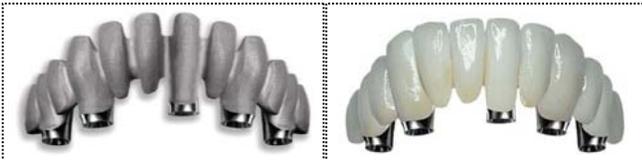


《各支台にプロセラ クラウンを装着》



◆チタン製

《ハイブリッドレジンを直接築盛》



《人工歯排列》



③【従来法(鋳造)とプロセラ インプラント ブリッジとの違いは?】

	従来法 (鋳造)	Procera® Implant Bridge (CAD/CAM)
精 度	鋳造時の金属の収縮(ロウ着が必須)が不安	ブロックからの削り出しの為 変形のリスクがない
強 度	貴金属の鋳造/ロウ着の為 不安	ブロックからの削り出しの為 高強度
生 態 親 和 性	金属アレルギーの不安	チタン/ジルコニア 共に安心
重 さ	貴金属にて鋳造する為 重い	チタン製の場合 軽い (比重:金の1/4)
作 業 効 率	埋没/鋳造/ロウ着が必要な為 コストも含めて効率が悪い	製作過程の簡略化が図れる
リ ス ク	鋳造&ロウ着ミス/不適合による再製作の不安	5年保証の為 フレーム代は無償にて再製作可能
パ ー ツ	各種アバットメントが必要	フレーム自身がアバットメントと一体構造
価 格	貴金属にて鋳造する為 高価&金属代高騰の不安	CAD/CAMにて製作される為 低コストで安定

④【従来法(鋳造)とプロセラ インプラント ブリッジでコストの違いは?】 《インプラント 2本 & ブリッジの歯数 3本》の場合

	装着方法	必用項目	概算金額計
エステティックAB	セメンティング	AB2本+AB調整代+フレーム金属代	¥120,000
ゴールドアダプトAB	セメンティング	AB2本+ワックスアップ代+鋳接用金属代+フレーム金属代	¥140,000
ゴールドアダプトAB	スクリーリテイン	AB2本+ワックスアップ代+鋳接用金属代+フレーム金属代	¥160,000
マルチユニット AB	スクリーリテイン	AB2本+ゴールドシンリンダー2本+鋳接用金属代+フレーム金属代	¥170,000
PIB AB レベル Ti	スクリーリテイン	AB2本+Temp AB2本+補綴用スクリー2本+PIB フレーム	¥100,000
PIB Implantレベル Ti	スクリーリテイン	Temp AB2本+ABスクリー2本+PIB フレーム	¥75,000